



## 2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月9日

上場会社名 株式会社イントランス 上場取引所 東  
コード番号 3237 URL <https://www.intrance.jp/>  
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 何 同璽  
問合せ先責任者(役職名) 管理部 部長 (氏名) 北川 雅章 (TEL) 03-6803-8100  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	201	△12.1	△85	—	△88	—	△88	—
2024年3月期第1四半期	229	74.4	△16	—	△17	—	△17	—

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 △91百万円(—%) 2024年3月期第1四半期 △18百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	△1.97	—
2024年3月期第1四半期	△0.46	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	1,289	1,078	81.3
2024年3月期	1,158	860	70.8

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 1,047百万円 2024年3月期 820百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,593	100.7	53	—	40	—	16	—	0.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期1Q	46,507,784株	2024年3月期	41,746,384株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	60,400株	2024年3月期	60,400株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期1Q	45,171,582株	2024年3月期1Q	37,070,600株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、「添付資料」3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算の経営成績等の概況	2
(1) 経営成績の概況	2
(2) 財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

## 1. 当四半期決算の経営成績等の概況

### (1) 経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間(2024年4月1日~2024年6月30日)におけるわが国経済は、円安を背景としたインバウンド需要の拡大や賃上げなどの動きによる雇用・所得環境の改善に加えて、人件費や資源価格の増加分を価格転嫁する動きが見られるなど、緩やかな回復基調となりました。

一方、中国経済の先行き不安や不安定な国際情勢、日銀による金融政策の見直し、物価上昇等、先行き不透明な状況が続いております。

こうした中、当社グループが属する不動産業界では、不動産価格は依然として高値圏で推移し、良好な資金調達環境が継続することで国内不動産への資金の流入は続くと考えられます。

一方、足元では国内金利の先高観があり、東証REIT指数は金利上昇への警戒感から軟調に推移するなど、不安定な要素も抱えています。

また、当社が注力するホテル運営業界では、訪日観光客を中心として、観光需要の回復は鮮明となっており、レジャー目的を中心とした宿泊施設の需要回復は、今後も期待できるものと考えております。

このような状況の下、当社グループでは、創業以来の不動産事業に加え、新たな事業領域でありますホテル運営事業の取り組みを加速させ、事業領域の拡大と企業価値の向上を目指してまいりました。

当社グループの目指す事業モデルは、不動産事業を安定収益とし、ホテル運営事業において高い成長を目指すというものであり、「都市型アパートメントホテル開発」と「地方創生ホテル投資」の推進によるホテル運営収益の拡大を基本戦略としています。

また、上記の推進においては収益化に一定の時間を要することから、より短期間で収益の確保が期待できるインバウンド向け宿泊施設の開発・売却への取り組みを併せて行っており、これら活動へ注力してまいりました。

その他、「その他事業」として、連結子会社である瀛創(上海)商務咨询有限公司において、グループ内ホテルへの国内インバウンド送客を推進し、併せて、連結子会社であるジャパンホテルインベストメント株式会社を中心として、ホテル施設への投資のためのファンド組成・運営を目指して資金調達の活動へ注力してまいりました。

なお、ハーブガーデン運営事業につきましては、前連結会計年度において、当社グループの連結範囲から除外しております。

この結果、売上高は201,860千円(前年同四半期比12.1%減)、営業損失は85,640千円(前年同四半期は営業損失16,644千円)、経常損失は88,598千円(前年同四半期は経常損失17,667千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は88,996千円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失17,043千円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### (不動産事業)

不動産事業につきましては、当第1四半期連結累計期間において、主にプロパティマネジメント事業、ホテル不動産・インバウンド向け宿泊施設の開発案件の発掘に注力しましたが、販売用不動産の売却がなかったこと、また、前第1四半期連結累計期間では長期未収入金に対して計上していた貸倒引当金の戻し入れを行ったことで販売管理費が大きく減少しましたが、当第1四半期連結累計期間においてはそうした特殊要因が剥落したこと等により、売上高は50,631千円(前年同四半期比13.1%減)、セグメント損失(営業損失)は165千円(前年同四半期は営業利益73,849千円)となりました。

#### (ホテル運営事業)

ホテル運営事業につきましては、当第1四半期連結累計期間において、グローバルホテルブランドのホテルの運営に注力し、売上高は151,229千円(前年同四半期比31.8%増)、セグメント損失(営業損失)は11,592千円(前年同四半期は営業損失15,679千円)となりました。

#### (その他)

その他事業につきましては、当第1四半期連結累計期間において、中華圏からの国内インバウンド送客を担う連結子会社の瀛創(上海)商務咨询有限公司における国内インバウンド送客事業を推進しましたが、現時点ではグループ内ホテルへの送客に留まるため、収益は限定的となりました。

併せてジャパンホテルインベストメント株式会社を中心としたホテル投資事業へのファンド組成等を目的とした投資家確保に向けた取り組みを進めてまいりましたが、当該事業において、前第1四半期連結累計期間及び当第1四半期連結累計期間とも売上はなく、セグメント損失(営業損失)は6,172千円(前年同四半期は営業損失8,362千円)となりました。

## (2) 財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、流動資産は前連結会計年度末に比べ12,652千円増加し1,052,352千円となりました。これは主として、現金及び預金が6,037千円増加したこと等によるものです。固定資産は前連結会計年度末と比べ119,227千円増加し226,127千円となりました。これは主として、投資その他の資産に含まれている長期預け金が120,000千円増加したこと等によるものです。繰延資産は、開業費が877千円減少し、10,524千円となりました。この結果、資産合計は前連結会計年度末と比べ131,003千円増加し、1,289,005千円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の負債につきましては、流動負債は前連結会計年度末と比べ83,586千円減少し203,659千円となりました。これは主として、株主優待引当金が59,320千円減少したこと等によるものです。固定負債は前連結会計年度末に比べ3,758千円減少し6,542千円となりました。これは主として、長期借入金が3,530千円減少したこと等によるものです。この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ87,344千円減少し、210,202千円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ218,348千円増加し、1,078,802千円となりました。これは主として、新株予約権の権利行使に伴う新株の発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ159,122千円増加したこと等によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年5月13日付「2024年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

2025年3月期の連結業績は、売上高2,593百万円（前期比100.7%増）、営業利益53百万円（前年同期は154百万円の営業損失）、経常利益40百万円（前年同期は162百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する当期純利益16百万円（前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失139百万円）を見込んでおります。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	890,040	896,078
売掛金及び契約資産	81,447	82,267
販売用不動産	43,837	43,099
その他の棚卸資産	2,285	1,372
その他	22,442	29,774
貸倒引当金	△354	△240
流動資産合計	1,039,699	1,052,352
固定資産		
有形固定資産	6,233	6,021
無形固定資産	10,837	10,265
投資その他の資産		
投資その他の資産	159,828	279,840
貸倒引当金	△70,000	△70,000
投資その他の資産合計	89,828	209,840
固定資産合計	106,899	226,127
繰延資産	11,401	10,524
資産合計	1,158,001	1,289,005
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	3,577	2,546
1年内返済予定の長期借入金	32,120	28,120
賞与引当金	6,881	3,566
株主優待引当金	59,320	-
その他	185,347	169,427
流動負債合計	287,246	203,659
固定負債		
長期借入金	9,140	5,610
その他	1,160	932
固定負債合計	10,300	6,542
負債合計	297,547	210,202
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,283,205	1,442,327
資本剰余金	1,053,204	1,212,326
利益剰余金	△1,506,519	△1,595,516
自己株式	△2,476	△2,476
株主資本合計	827,413	1,056,661
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△7,116	△9,228
新株予約権	40,157	31,369
純資産合計	860,453	1,078,802
負債純資産合計	1,158,001	1,289,005

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)
売上高	229,537	201,860
売上原価	71,103	46,235
売上総利益	158,433	155,625
販売費及び一般管理費	175,078	241,265
営業損失(△)	△16,644	△85,640
営業外収益		
受取遅延損害金	2,000	-
為替差益	1,255	2,562
その他	846	33
営業外収益合計	4,102	2,595
営業外費用		
支払利息	1,988	167
社債発行費	2,813	-
株式交付費	-	1,973
開業費償却	-	877
支払手数料	-	1,500
デリバティブ評価損	-	1,035
その他	323	-
営業外費用合計	5,125	5,553
経常損失(△)	△17,667	△88,598
税金等調整前四半期純損失(△)	△17,667	△88,598
法人税等	△624	398
四半期純損失(△)	△17,043	△88,996
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△17,043	△88,996

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純損失(△)	△17,043	△88,996
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△1,168	△2,111
その他の包括利益合計	△1,168	△2,111
四半期包括利益	△18,211	△91,107
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△18,211	△91,107
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	計 (注) 3
	不動産事業	ホテル運営事業	ハーブガーデン 運営事業	計			
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	49,744	114,774	56,498	221,017	—	—	221,017
その他の収益	8,519	—	—	8,519	—	—	8,519
外部顧客への売上高	58,264	114,774	56,498	229,537	—	—	229,537
セグメント利益又は 損失(△)	73,849	△15,679	1,502	59,672	△8,362	△67,954	△16,644

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に上海における国内インバウンド送客事業であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、報告セグメントに帰属しない本社の費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	計 (注) 3
	不動産事業	ホテル運営事業	ハーブガーデン 運営事業(注)4	計			
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	48,961	151,229	—	200,191	—	—	200,191
その他の収益	1,669	—	—	1,669	—	—	1,669
外部顧客への売上高	50,631	151,229	—	201,860	—	—	201,860
セグメント損失(△)	△165	△11,592	—	△11,758	△6,172	△67,709	△85,640

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に上海における国内インバウンド送客事業であります。

2. セグメント損失(△)の調整額は、報告セグメントに帰属しない本社の費用であります。

3. セグメント損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

4. 「ハーブガーデン運営事業」については、前連結会計年度をもって、当社グループの連結範囲から除外しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

当第1四半期連結累計期間において、第7回及び第8回新株予約権の権利行使に伴う新株の発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ159,122千円増加しております。この結果、当第1四半期連結会計期間末において資本金が1,442,327千円、資本剰余金が1,212,326千円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	3,393千円	784千円